



大盛況 アンビフェスタ

 11.4
mon

体験型イベント「Let's Go!アンビフェスタ」が生涯学習センターで開催され、1,000人を超える来場者で賑わいました。

毎年好評のお茶席などの体験コーナーに加え、消防士やマジシャン、薬剤師、ラジオDJなどのお仕事体験もあり、各ブースは開会直後から子どもたちの長蛇の列が。会場は終日、参加者とスタッフの笑顔であふれていました。

このイベントは、市内のアンビシャス運動参加団体と地域のボランティアの皆さんが「体験が子どもたちの将来の夢や希望につながれば」という熱い思いで開催しています。



秋晴れの下、千客万来！ フリーマーケット七夕市

 11.9
sat

近年は天候不良で中止が続いていたフリーマーケット「七夕市」。59回目の開催は、雲ひとつない秋晴れの下、家族連れなど多くの人で賑わいました。

会場となったイオン小郡ショッピングセンター駐車場の一角には、約100店以上のブースが並び、冬の衣類から雑貨、食器など、商品はさまざま。値引き交渉を繰り広げながら、買い物を楽しむお客さんの姿が多く見受けられ、なかには「5周はした」という強者も。待ちに待った開催は大盛況でした。

見て体験して健康を考える あすてらすフェスタ

 10.27
sun

健康や福祉について考える、市民の健康づくり大会「あすてらすフェスタ」が開催されました。あすてらすの館内には、現役医師による講演や検診、また介護や救命処置体験、バザーなど、多数のコーナーが登場。毎年好評の「健康を守る母の会」が作る野菜たっぷりのカレーは、今年も300食が完売しました。

あらゆる視点から健康の尊さを学んだこの機会、病気を未然に防ぐため、生活習慣を改めて見直してみませんか。



大原中学生徒が提案！ 「松崎宿復活プロジェクト」

 11.1
fri

大原中学校の2年生が、旅籠油屋のある松崎宿の魅力をもっとPRするための提案発表会を行いました。「小郡は自分たちのまちなのに知らないことがたくさんある」と気づいたことがきっかけで、自分たちも知らなかった松崎宿をもっと多くの人に知ってもらいたいと、実地見学や情報収集、関係者へのインタビューを重ねてプロジェクトを作り上げました。

提案会では、18グループが「宣伝、イベント」「食、グッズ」「キャラ、体験、インスタ」などのジャンルに分かれ、市の文化財や観光の担当者や、地元の人に自分たちが考えたプランを発表しました。この学習を通し、まちの歴史や魅力を学んだ子どもたち。もっと小郡が好きになったことでしょう。

水難事故ゼロへ 総決起大会

11.5
tue



今年、市内で小学生が犠牲になる水難事故が続いて起きたことを受け、市は水難事故ゼロ総決起大会を開催しました。

地域の皆さんや学校関係者、ため池管理者など、約180人が参加し、水難事故への危機感を共有しました。久留米広域消防本部浮羽消防署の稲益さんによる講演では、「みんなが安全を守る当事者。積極的に安全に関わることが大切」と話があり、地域で一体となって取り組むことの必要性を訴えました。最後に、水難事故の犠牲者をこれ以上出さないよう決意を新たにし、水難事故ゼロ宣言を行いました。

『小郡市水難事故ゼロ宣言』

私たちの願いは「安全で安心して暮らすことのできる小郡市」を実現することです。

誰の身にも起こり得る水難事故により、一瞬にして大切な人を失う悲しみを繰り返したくないというのは、皆の願いです。

私たちが愛してやまないこの地域で、二度と水難事故が発生しないように、今こそ私たちは力を合わせる時です。

私たちは、ここに団結して水難事故の犠牲者をこれ以上出さないように決意を新たにしました。

私たちは、この地域から水難事故がなくなる日まで行政、警察、消防、地域住民、学校、保護者が一体となって「安全で安心して暮らすことのできる小郡市」の実現に向けて邁進することをここに宣言します。

令和元年11月5日

小郡市水難事故ゼロ総決起大会参加者一同

秋の伝統行事 横隈早馬祭

11.17
sun

乙隈地区に続き、横隈でも無病息災や家内安全、五穀豊穡を祈願する「早馬祭」が行われました。

江戸時代から伝わる市指定無形民俗文化財指定の伝統行事。束ねた稲わらを馬に見立てた「早馬」を作り、白い水法被姿の男衆が代わるがわる馬を担ぎながら、氏子さんの家々を回ります。

威勢よく「ワッショイ！ワッショイ！」と走り続ける勇ましい姿に、偶然立ち会った如意輪寺の観光客も思わず足を止めて見入っていました。地域の子どもたちも見守る中、無事に完走した早馬。達成感と充実感に満ちた参加者の表情が、祭りの成功を物語っていました。



地域の防災訓練に 三井高生が協力

11.14
thu

大原校区協働のまちづくり防災部会が、三井高校福祉教養コースの生徒6人から車いすの使用方法を学びました。この講習会は11月23日開催の大原校区防災訓練に先立って行われたもの。

車いすを使った高齢者の避難支援に際し、「下り坂や段差などで安全に操作できるか心配」との声が上がったことを受け、三井高校に車いすの操作方法を教えてほしいと依頼して実現しました。

操作方法を学び、乗る役・動かす役に別れて実地訓練を行った参加者は「車いすは乗るのも動かすのも初めて。いざという時のために経験できてよかった」と話していました。

